

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		仙台市田子西たんぼホーム		公表日		令和7年 月 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		クラスに合わせ過ぎやすい環境を考えている。欠員はあるが、療育提供には1クラス子どもに合わせて3～4名配置している			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		様々な場面でクラス特性に合わせた構造化を取り入れている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		日々使用したものはアルコール消毒をしている。適時換気もしている。心地よい空間を工夫している			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要に応じた空間は確保している			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		全体で話し合う場、個別に面接する場を設けた			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		職員の経験年数や、業務内容に応じて研修内容を考えている。定期的な職員研修(内部、外部)を実施、参加している。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		ニーズに応じた計画を作成し、保護者と確認、共有している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		クラス担任と児発課管で共通した認識で検討、支援の提供をしている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画的に支援を提供し3ヶ月おきに保護者と支援内容を確認、面談をしている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		具体的に子どもに合わせた支援内容を設定している(一人ひとり全く違うものになっている)			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		クラス毎に会議を実施し計画を立てている。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	ルーティンは固定し、設定遊びは工夫、変化をつけて提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別活動（のびのび）とクラス活動に応じた計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	全体反省を日々実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	日々の反省で個々の個別支援計画の内容に焦点をあててふりかえる時間を設けた。保護者と（3ヶ月）の面談をおこなった。6ヶ月おきにモニタリングし、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	区、病院等の関係機関と必要に応じて連絡をとりあっている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	就学児支援を行っていない。就学の子どもが在籍していない。就学児の該当者おらず。	就学児移行支援対象のお子さんが在籍している場合は小学校との連携を密にし相互理解を図っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○	ブロック活動や各センターで地域保育施設向け（地域相談員）の研修会を実施している。地域拠点保育所と連携し地域向け研修会も実施	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	園長、地域相談員が中心となり参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	地域保育所、児童館へ出向き、交流する機会を設けている。高砂児童館、保育所等訪問し遊んだ。地域の保育所、保育園、児童館との交流、訪問を行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	日々の活動中だけでなく、3ヶ月おきに面談日を設け共通理解を図るよう努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	各保護者向けの勉強会（ペアトレ含む）を実施している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	保護者に同意を得た上で丁寧に取り組んでいる。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		3ヶ月面談を主に、定期的に保護者と話す機会を設けている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		きょうだい同士、交流する機会を年間で企画、実施している。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		タイムリーに応じ対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月園だよりやクラスだよりを発行していた。月、おたより、クラスだよりを発行
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の保育所や幼稚園の先生をお招きし、玩具や環境設定を見学していただいた。地域に駐車場を開放している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		毎月1回訓練を実施している。訓練内容を変えて行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		健康管理カードを利用し看護師中心に把握している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		看護師、クラス職員を中心に対応
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月1回虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を開催し、会議を実施している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を行うような状況はない。身体拘束をしていない。